

令和7年度の校内研究構想図

令和7年度 板橋区立新河岸小学校 「読み解く力」を育成する指導の工夫 ～ 聞きたい! 読みたい! と考える学習活動 ～」

学校教育目標

よく考える子ども ねばり強く取り組む子ども 仲よく助け合う子ども 明るく元気な子ども

社会的背景より

- ・少子高齢化による生産年齢人口の減少
- ・人工知能（AI）の飛躍的進化等によるグローバル化の進展と絶え間ない技術革新
- ・「生きる力」を育むための「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進【現行学習指導要領より】

板橋区の教育課題

- ・「板橋区授業スタンダード」の徹底（めあてや協働的な学びの大切さ）
- ・「読み解く力」の育成（INPUT THINK OUTPUT）
- ・「一人一台端末」の活用（個別最適な学び 協働的な学び）
- ・「総合的な学習の時間」の充実（SDG s STEAM GIGA）

児童の実態

- どの学年にも、短い文章でもよく読まなかったり、文章の意味を捉えられなかったりする児童がいる。
- ・問題や質問の意味が分からず、無回答が多い。
- ・指示語が指している単語や文が分からない。
- ・資料から必要な情報を取り出すことが苦手。
- ・学年に応じた言葉の理解が難しい児童が多く、分からなくてもそのままにしてしまう児童が多い。
- ・既習の漢字を使っていない。

教師の願い

- ・文字、文章を単なる音として捉えるのではなく、意味や文と文とのつながりを理解しながら読めるようになってほしい。
- ・言葉のもつ良さを感じ、豊富な語彙を獲得してほしい。
- ・文章に対する苦手意識を無くしてほしい。
- ・学習課題に丁寧に取り組もうとする。
- ・自分の思いや考えを伝えられる。

研究主題

「読み解く力」を育成する指導の工夫

～「板橋区授業スタンダード新河岸バージョン」を通して～

<目指す児童像> （前年度）

- 低 興味関心をもち、自分ごととして友達や先生の話の聞いたり、相手の話を理解したりすることができる児童。
- 中 聞いたり、読んだりしたことから、中心となる言葉や文をそれぞれ関連付けて捉え、意味をしっかりと理解することができる児童
- 高 学習課題に丁寧に取り組み、それぞれの教科で学んだことを結びつけたり関連性に気付いたりすることができる児童。

研究の内容・方法

【読み解く力をつけるために】

R6 年度からの取り組み

- ・LUT・朝学習・板橋区授業スタンダード・教員の指導力向上のためのOJT

R7 年度新たに

- ・全教員が研究授業に取り組む。
- ・板橋区スタンダード新河岸バージョンを実施する。（別紙）

【評価、変容の見取り】

- ・国語・算数の観点別平均点を1学期と2学期で比較する。

国語と算数の観点別平均点（4月～7月と9月～12月）を比較する ※EXを含む

入力場所 02 2部会 ⇒ 03 研究推進・学力向上 ⇒ 03 学力向上 ⇒ 05 平均点ファイル ⇒ 各学年

	・テストがない教科については、課題に対する取り組み前後の伸びで見取る。 どのように表現していただくかは、まだ検討中です。
--	---